

## 国際社会学部

# 伊東剛史

ITO Takashi

地域社会研究コース／北西ヨーロッパ地域（イギリス）

歴史学

## 伊東剛史 (いとうたかし)

北西ヨーロッパ/英語専攻 地域研究コース

### 主な担当授業

イギリスの歴史や文化について学ぶ基礎的な授業や、感情とは何かを歴史的な視点から考える、少し専門的な授業など。イギリス史のゼミも開いています。

### お勧めの一冊

「スラムダンク」  
「あきらめたらそこで試合終了ですよ」by安西先生  
↑ネタバレにつきご容赦ください。。。

### 座右の銘

果報は寝て待て、あるいは  
寝る子は育つ、寝る大人はもっと育つ  
これ以上育ってもこまるけど。。。



### 研究① 動物園

世界で最初に誕生した動物園のひとつ、ロンドン動物園の歴史を研究しています。「動物愛護の先進国」とわれるイギリスで、人と動物の関係がどのように変化してきたかを調べています。

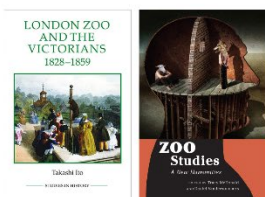
### 研究② 科学史

自然科学の歴史にも関心をもっています。とくに、進化論で有名なダーウィンの人物像や、ダーウィンの進化論の社会的インパクトについて研究しています。

### 研究③ 感情史

今を生きる私たちの感じる喜びや悲しみは、300年前の人の喜びや悲しみと同じなのか、違うのか。そんな疑問を出発点に、感情が歴史をどのように動かしてきたのかを考えています。

①



②



③



## 研究紹介

しばらくの間、同世代のイギリス史研究者と一緒に「痛みの文化史」を研究してきました。それが、論集『痛みと感情のイギリス史』（東京外国語大学出版会、2017年）としてひとつのかたちになり、最近引き続き、痛み、感情、共感という主題で研究を続ける一方、自身のももとの研究テーマである「人と動物の関係史」に立ち戻り、近代イギリスの科学と動物との関係を研究しています。このところ多くの成果が出ている動物園史の研究状況を整理する仕事にも取り組んでいます。

ロンドン動物園の黎明期を描いた London Zoo and the Victorians, 1828-1859がペーパーバックになりました（2020年3月刊行）。

## 担当授業

- 「周縁」から考えるグローバル・ヒストリー - (グローバル・ヒストリー)【概論】
- 近代イギリスの政治・社会・文化【演習】
- ヨーロッパ・アメリカ地域研究【大学院】

## 関連する分野

- 人と動物の関係史
- グローバル・ヒストリー
- 感情史

## 国際社会学部

# イギリス近代史 ゼミ

### どのようなゼミか

本ゼミには2つの目的があります。ひとつは、北西ヨーロッパ（イギリス・アイルランド）をフィールドとして、歴史学をもとに地域研究の方法論を習得すること。もうひとつは、それを用いて、自分の研究テーマを設定し、卒業論文作成の準備をすることです。考える力、議論する力、文章を書く力をしっかり身につけることを目指します。

本ゼミが対応する時代・地域・分野は次のとおりです。

時代: 名誉革命以降、現代まで

地域: 北西ヨーロッパ(イギリス、アイルランド)

「イギリス帝国」を構成した諸地域については応相談

分野: 政治史・社会史・文化史

どのような卒論テーマを選ぶにせよ、歴史学の方法論を学び、それを用いて、問題を設定し、その問題について掘り下げて研究していくことになるでしょう。

### 卒論

- エリザベス朝演劇の発展—宮廷庇護と統制との関係を中心に
- エリザベス期イングランドの魔女狩りにみる女性像と魔女像—1582年アースリィ・ケンプの裁判をもとに
- サウス・ケンジントン博物館に何故絵画が置かれたか—その美術館化を念頭に置いた考察
- フランス革命期から英仏協商までの民衆の対仏意識の変遷—ジェイムズ・ギルレイ及び『パンチ』を中心に
- 19世紀ロンドンにおける大衆文化の形成について—ミュージック・ホールと演劇の比較の観点から
- 19世紀イングランドの都市労働者階級にみる清潔と敬神の関係性
- 翻案にみるヴィクトリア期の児童文学—1886年の『不思議の国のアリス』舞台化を中心に

### おススメの本

- 『感情史とは何か』（岩波書店 2021）
- London Zoo and the Victorians, 1828-1859. Takashi Ito. Royal Historical Society 2020.
- 『痛みと感情のイギリス史』（東京外国語大学出版会 2017）